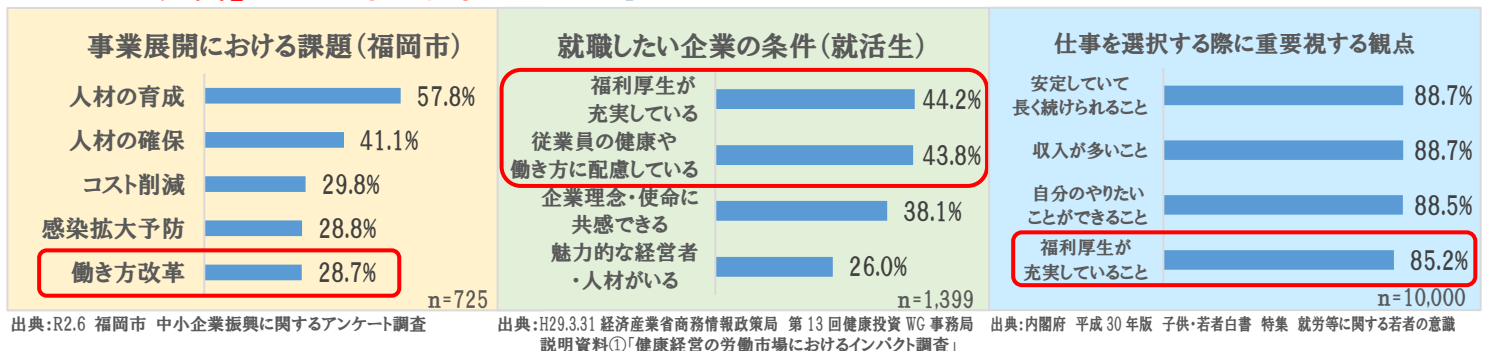


# 中小企業での人材定着や働き方改革に果たす “福利厚生”の役割

## 1 従業員の働き方や健康管理への配慮

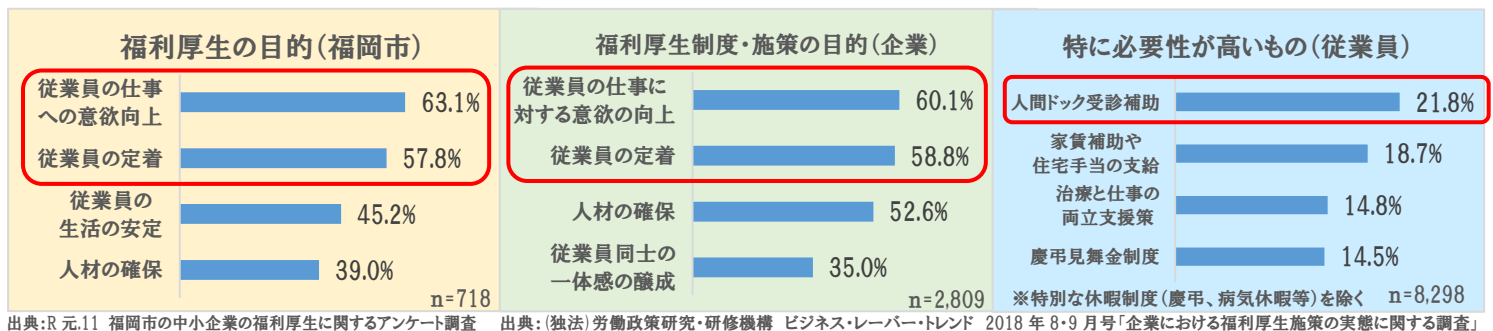
「働き方改革」は、性別や年齢等にかかわらず、誰もが働きがいや生きがいを感じる社会づくりへの鍵と考えられており、企業には、近年の人手不足に対応する観点からも「働き方改革」に的確に対応し、職場環境の改善に取り組むことが求められています。

市内中小企業へのアンケート調査でも、今後の事業展開上の課題として、「人材の確保」や「働き方改革」が上位に挙がりました。また、**就活生や若者は「健康や働き方に配慮」「福利厚生が充実」した企業に就職したい**と考えています。



## 2 福利厚生の目的

福利厚生に関する「企業側の目的」としては、「**従業員の仕事への意欲向上**」、「**従業員の定着**」のためが上位となっています。また、「従業員側のニーズ」としては、「**人間ドック受診補助**」がトップとなっています。



## 3 福利厚生の更なる充実に向けて

福利厚生には、**アウトソーシング(外部委託)**することで、健康増進や旅行関連の支援等、自社で独自に準備するより**少ない負担で更なる充実が図れるものもあります。**

多様なサービスや事業者がありますので、自社の要望や予算に合った、プラスアルファの福利厚生サービスの導入を検討してみてもいいかもしれません。

(民間事業者のほか、福岡市全額出資の公益財団法人FCFもサービス提供中)

福利厚生アウトソーシング

検索

### アウトソーシングの 3つのメリット(※)

#### 充実したサービス

従業員が享受できる福利厚生メニューが広がります。

#### お得な税制面

事業主が負担された会費は、税法上損金または必要経費として処理できます。なお、消費税は不課税取引となります。

#### 経費節約

自社で独自に準備するより少ない負担で会社の福利厚生の充実が図れるため経費の節約につながります。

※ サービス等は事業者によって異なります。詳しくは各事業者にお問い合わせください。